本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO QUARTZ
コンピュータ・ウオッチ カシオ クオーツ

ストップウオッチつき
31 QR-17 B シリーズ

使用説明書

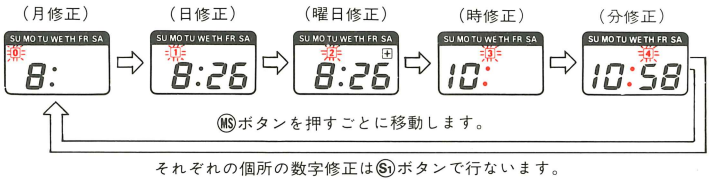
■製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表　示　方　式：FE型液晶デジタル表示
表　示　内　容：通常表示＝時・分・秒（10秒・5秒・秒）・午前／午後
切替表示＝月・日・曜日　2月28日制オートカレンダー
ストップウオッチ表示（13分まで計時可能）
〔「時・分計」として、13時間まで利用可能〕
セ　ッ　ト　機　構：時刻セット機構　　ストップウオッチセット機構
カレンダーセット機構
秒合わせ機構（±30秒クリア）
時差修正機構
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池及び寿命：酸化銀電池（UCC-392）1個
約12ヵ月（内部照明毎日1秒5回点灯）
電池別途販売

●合わせたい個所を選んで合わせる場合

（1）Ⓢ1ボタンを押したままⓂⓈボタンを押し続け、2度目に表示が消えたとき、両方のボタンをはなします。

（2）合わせる個所「月」「日」「曜日」「時」「分」をⓂⓈボタンで選びⓈ1ボタンで数字を修正します。
（合わせる個所は点滅～点滅で下図の様に表示します。）

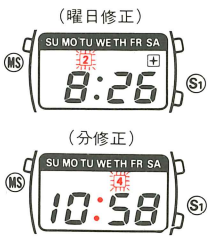


それぞれの個所の数字修正はⓈ1ボタンで行ないます。

例1．「日」だけの修正
○(1)の操作のあと、表示が「日」修正を示す(点滅)になるまでⓂⓈボタンを押します。
○合わせたい「日」の数字になるまでⓈ1ボタンを押します。



例2．「曜日」と「分」の修正
○(1)の操作のあと、表示が「曜日」修正を示す(点滅)になるまでⓂⓈボタンを押します。
○合わせたい「曜日」の数字になるまでⓈ1ボタンを押します。
○次に「分」修正を示す(点滅)になるまでⓂⓈボタンを押します。
○合わせたい「分」の数字になるまでⓈ1ボタンを押します。



（3）修正が終わると、どの修正個所からでも、ⓈⓁボタンを押せば、「時刻表示」に復帰できます。

※なお修正中、修正個所以外はまったく影響を受けず正常に作動しています。

■使用上のご注意

カシオクオーツをいつまでも高精度でご愛用いただくため、下記の点を特にご留意ください。
(1) 極端に高い温度や、極端に低い温度条件下ではご使用にならないでください。機能が低下したり電池寿命を短くしたりする恐れがあります。
(2) 水が入りにくい構造になっていますが、精密な電子回路や部品を保護するために、入浴や海水浴、洗車時などの不確定な水圧が加わる恐れのあるときのご使用は避けてください。
(3) 通常の使用状態でのショックには耐えるよう設計されていますが、落としたり強い衝撃を与えますと故障の原因となりますので十分ご注意ください。
(4) この腕時計は、C/MOS－LSIや水晶振動子、それに液晶パネルなどの精密パーツで構成され組立てられていますので、時計の内部には絶対手をふれないでください。
(5) このカシオクオーツを腕から外したり、長期にわたってお使いにならないときは…
a 寒冷地や夏場の直射日光が当る場所には放置しないでください。
b 水蒸気がたったり、たちこめるような湿気が極端に多い場所で長時間放置したり、保存しないでください。
c 消耗した電池を入れたままにしておきますと、故障の原因になります。長期間お使いにならないときは電池を抜くか、12ヵ月に一度電池を入れかえながら保存してください。なお、電池の出し入れは絶対にご自分でなさらないでください。
(6) ボタン操作は確実におこなってください。
(7) このカシオクオーツに使用しているメタルバンドも汗やホコリでよごれます。汗をかいたときは、吸湿性の良い布などで水分を取り除いてください。また、ときどきは柔らかい歯ブラシ等を使い石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。
（その際、時計本体には水がかからないようご注意ください。）

■電池交換について

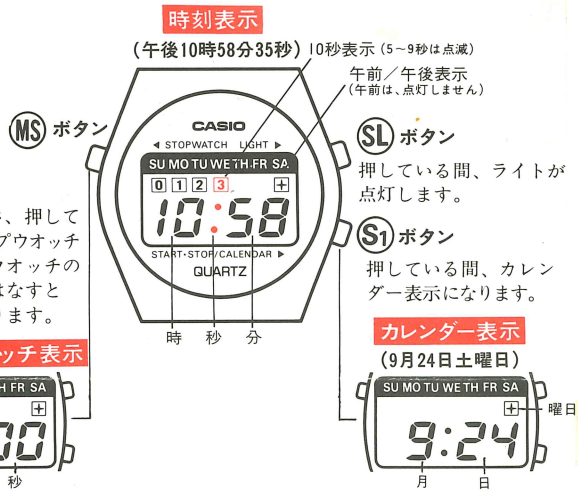
最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、約12ヵ月に満たないうちに寿命がきれることがあります。
電池が消耗しますと「内部照明のライトが点灯しなくなったり」「急に遅れが目立ったり」「表示が消えたり」「見にくくなります」このような症状があらわれたら電池交換を行ってください。
新しい電池とお取りかえいただきますとその後、約12ヵ月ご使用になれます。
電池交換は、精度や寿命、気密性の維持上必らずお求めのお店かお近くのカシオクオーツ取扱い店あるいは当社営業所・出張所・サービスセンターにお申しつけいただき当社指定のカシオクオーツ専用電池(UCC－392・別途販売です）と交換してください。
カシオクオーツ専用電池以外の電池をご使用しますと時計の正常な働きをさまたげ、故障の原因ともなりますのでご注意ください。

■液晶パネルの交換について

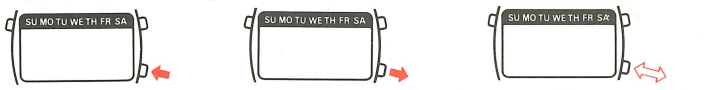
この時計には高品質のFE型液晶パネルを使用しておりますが、液晶はその性格上5年すぎますと、コントラストが低下したり、読みにくくなることがあります。その場合はお買いあげ店、またはカシオクオーツ取扱い店へ交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■表示の見方と操作のしくみ

● ……点灯
● ……点減

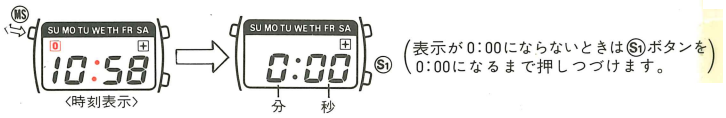


※以後の説明において、ボタンの操作は次の様に図示します。



■ストップウオッチの使い方

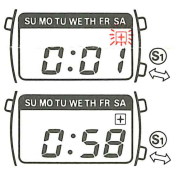
時刻表示のときⓂボタンを押します。



●スタート／ストップ、リセット(0:00)のしかた

〈スタート〉Ⓢ1ボタンを押す
(＋が点滅してカウント開始)

〈ストップ〉Ⓢ1ボタンを押す
(＋が点灯してカウント停止)



〈リセット〉Ⓢ1ボタンを表示が0:00になるまで押しつづける
(カウントはつづきますが2秒後ぐらいに0:00になります)

※ロスタイムがある場合
リセットせずに再スタート(Ⓢ1ボタンを押す)すれば、表示タイムに引きつづきカウントをはじめます。

●ストップウオッチ使用中に時刻を見たい場合

カウント中でも、停止中でも、Ⓜボタンを押してはなすと時刻表示になります。この間ストップウオッチは正常に働いています。
(もう1度Ⓜボタンを押してはなすとストップウオッチ表示にもどります。)

このときⓂボタンは押しつづけないでください。押しつづけますと時刻表示とちがう表示になりますがⓈボタンを押したあとⓂボタンを押せば時刻表示になります。

●計時可能時間と表示の変化

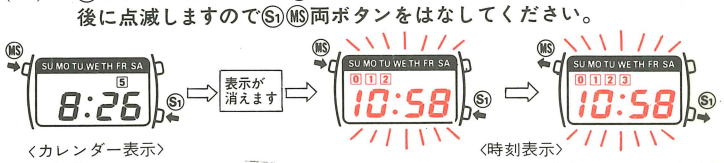
ストップウオッチは、13分まで「分・秒計時」それ以降は13時間まで「時・分計時」になります。



■秒の合わせ方(30秒以内の遅れ、進みの合わせ方)

この時計をより正確にお使いいただくために月に一度、この「秒合わせ」をしていただけますといつも正確です。

(1) Ⓢ1ボタンを押したままⓂボタンを押しつづけると表示が消え、約6秒後に点滅しますのでⓈ1Ⓜ両ボタンをはなしてください。



(2) 時報の「ポ～ン」に合わせてⓈ1ボタンを押すと下図のようにピタリ合います。



10秒表示が 0 1 2 の間にⓈ1ボタンを押すと30秒以内の進みが修正できます。

10秒表示が 3 4 5 の間にⓈ1ボタンを押すと30秒以内の遅れが修正できます。



(秒合わせは分単位でできます
時報は電話117番が便利です)

■時刻・カレンダーの合わせ方

●「月」「日」「曜日」「時」「分」を合わせる場合

例：11月5日(土) 午後3時38分に合わせる場合

(1) Ⓢ1ボタンを押し、カレンダー表示にしたままで、



(2) さらにⓂボタンを押し、両ボタンを押し続けてください。



(3) 約6秒たつと、表示全体が点滅をはじめますが、さらに押し続けてください。



(4) さらに、約6秒たつと、再び表示が消えます。



「月」修正

(5) この状態のときⓈ1Ⓜ両ボタンをはなしますと「月修正」になります。



(6) Ⓢ1ボタンを押すごとに、1,2,3…11, 12, 1, 2,…とひと月ずつ進みますので、「11」になるまで、押してください。



「日」修正

(7) Ⓜボタンを押すと「日」修正になります。



(8) Ⓢ1ボタンを押すごとに、1日ずつ進みますので「5」になるまで押してください。
(このとき28, 29, 30, 31……38, 39, 0, 1, 2…と進みます)



「曜日」修正

(9) Ⓜボタンを押すと「曜日」修正になります。



(10) Ⓢ1ボタンを押すごとに、曜日が月、火、水……と進みますので、「土」になるまで押してください。



「時」修正

(11) Ⓜボタンを押すと「時」修正になります。



(12) Ⓢ1ボタンを押すごとに、1,2,3…11,12, 1…と1時間ずつ進みますので「3」になるまで押してください。
(このとき午後表示＋は、12時をすぎるごとに、ついたり(午後)、消えたり(午前)します。)



「分」修正

(13) Ⓜボタンを押すと「分」修正になります。



(14) Ⓢ1ボタンを押すごとに、1,2,3…59,0, 1…と1分ずつ進みますので「38」になるまで押してください。
(次の「時報合わせ」のために現時刻より1分程度先にセットしてください)



「時報合わせ」

(15) 時報に合わせて、Ⓢボタンを押します。この瞬間より、ジャストタイムよりスタートします。

